

小田原創友クラブ

第74号

【発行】小田原市老人クラブ連合会

〒250-0055 小田原市久野115-2 ☎(0465)32-5800 編集 創友クラブ教養部

【印刷・編集協力】株博報社 関東支社 神奈川県厚木市愛甲1-8-39 ☎(046)280-6001(代)



健康で地域支援にお力添えを

小田原市老人クラブ連合会

(小田原創友クラブ) 会長 大友 昭夫

明けましておめでとございます。会員の皆様方におかれましては、穏やかな、明るい希望に満ちた新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

皆様には日頃から創友クラブの諸行事や、地域における社会奉仕・友愛・健康づくり活動にも取り組まれ、ご協力いただき厚く御礼申し上げます。

さて時代も「平成」から「令和」と新しくなり、会員の中心となる世代も昭和の団塊世代となりつつあります。

これからは視点を転換しながら一つひとつの活動をより一層楽しく豊かにし、地域と連携したクラブを目指したいと考えます。

高齢化社会の進展により、平成29年度より厚生労働省の奨励で実施されました「地域支援事業担い手養成研修会」も3年目となり、それぞれの地域で高齢者が互いに支え合う、支援の取組みが小田原地区でも進展しております。

皆様方の長い人生において培ってこられた豊富な知識や経験を活かしていただき、健康で生きいきと暮らすことができる地域社会づくりと、高齢者福祉向上のために、是非124クラブの会員皆様方のお力添えをお願い申し上げます。

少子高齢化の現在、一人ひとりが健康を保持し、教養を豊かに、趣味を活かして人生を過ごすことがより大切な時だと思えます。

結びに、今年1年が皆様にとりまして素晴らしい年となりますよう心から祈念申し上げ年頭のご挨拶とさせていただきます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



新年を迎えて

小田原市長 加藤 憲一

明けましておめでとうござい
ます。

小田原市老人クラブ連合会の
皆様方におかれましては、健やか
に新年をお迎えのことと心から
お慶び申し上げます。

また、会員の皆様には、日ごろ
より、地域の清掃活動や友愛活
動、健康づくりに関する活動な
ど、様々な取組みを精力的に実
施され、地域福祉の向上に貢献
いただいておりますことを厚く
お礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、台風
19号が各地に大きな被害をもた
らしました。本市においても、浸
水や高波被害が発生したほか、
かつてない大勢の市民の皆さん
が避難場所で過ごされるなど、
改めて自然の猛威を感じさせら
れるとともに、こうした災害時に
は身近な地域における支援体制
が重要であることを実感してい
るところです。

市民生活の基盤である地域コ
ミュニティは、急速な人口減少・少

子高齢化の進行に伴い、日常生
活にも様々な形で影響をみせて
います。こうした厳しい局面を
乗り越え、持続可能な地域社会
を実現するためには、1人ではで
きないことをお互いに補い、見守
り、支え合って生活をしていく必
要があります。

小田原市老人クラブ連合会の
皆様には、これからも健康に留
意しながら、豊かな地域社会の
担い手として、健康づくりや生
きがいづくり、ボランティア活動

など、様々な面でご尽力ご協力
を賜りますようお願い申し上げ
ます。

結びに、小田原市老人クラブ
連合会並びに各単位老人クラブ
のますますのご発展、そして今年
1年が皆様にとりまして素晴ら
しい年でありますよう、心から祈
念致します。



新年のご挨拶

小田原市議会 議長 奥山孝二郎

明けましておめでとうござい
ます。

小田原市老人クラブ連合会の
皆様におかれましては、希望に満
ちた新春をお迎えのことと、心
からお慶び申し上げます。

また、日頃から、地域のボラ
ンティア活動や清掃活動などの
様々な社会活動を通して、シニア
世代の生きがいと健康づくりの
推進や暮らしやすいまちづくりに
ご協力いただいておりますこと
に、厚くお礼申し上げます。

さて、国が公表した令和元年
版高齢社会白書では、地域の高
齢化が進むに伴って、住民が住み
慣れた地域で、安心して住み続
けられるようにすることが重要
であるとし、そのためには、社会
参画の機会や外出手段の確保な
どの様々な工夫が必要であると
しています。

本市でも多くの方が年齢にと
らわれることなく、心や体の健
康を保ちながら、仕事や趣味、地
域活動など、精力的に活動して

おられます。いつまでも元気に
活動が続けたいと考える方が増
え、そして地域の支え合いがより
大切となる中、豊富な人生経験
や知識、幅広い人間関係を生か
す場を提供し、その活動をサポ
ートしていく取組は、今後のまち
づくりに欠かせないものであり、
貴会が担っておられる役割は、今
後ますます重要になってまいり
ます。

市議会といたしましても、誰
もが明るく活気に満ち、健康で

生きがいあふれる生活を送るこ
とができる社会の実現に向けて
努力してまいります。そのため
には皆様のお力添えが是非とも
必要でありますので、本年も変わ
らぬご支援ご協力をお願い申し
上げます。

結びに、貴会のますますのご
発展と、会員の皆様のご健勝を
お祈り申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



新年を迎えて

福祉健康部長 山崎 文明

明けましておめでとうございます。

小田原市老人クラブ連合会の皆様方におかれましては、希望に満ちた新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日ごろより、福祉行政に對しまして、格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本市では全国同様に少子高齢化が進展し、総人口に占

める65歳以上の方の割合は約30%となり、年々介護サービスを必要とされる方も増加しております。

このような状況におきましては、シニア世代の皆様が積極的に健康増進や介護予防に取り組むことが重要になってまいります。

お一人おひとりが、元気に活動を続けることが、今後の社会保障費の増加を抑え、若い世代の負担の軽減にも繋がるものと

考えております。

人生100年時代と言われる中、本市では年齢を重ねても、いつまでも元気に自分らしく、豊かな生活を続けていけるよう自立を支援する事業を実施するとともに、シニアの皆様の豊かな経験やスキルを活かし、社会の担い手として活躍していただくプロダクティブ・エイジングの取り組みを推進しております。

小田原市老人クラブ連合会の皆様には、今後とも多世代交流や見守り活動、環境美化活動等を通じて地域福祉の充実に力を発揮して頂くとともに、健康づくりや仲間づくり等に積極的に参加して頂きたいと存じます。

結びに、この新しい年が小田原市老人クラブ連合会並びに各単位老人クラブの皆様にとりまして、素晴らしい年となりますよう、心から祈念申し上げます。年頭の挨拶とさせていただきます。



新年のご挨拶

小田原市社会福祉協議会 常務理事 林 良英

明けましておめでとうございます。

小田原市老人クラブ連合会の皆様方におかれましては、輝かしい新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また、日頃から社会福祉協議会の運営に對しましてご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、台風19号通過に伴う暴風雨、高波、高潮等により、本市も大きな被害に見舞われました。

私ども社協では被災情報に基づき、直ちに社協職員と地元関

係者による床上浸水等被災地区でのニーズ調査を実施し、災害ボランティアセンターは設置しなかつたものの通常ボランティア活動の一環で従事協力者を募り、被災世帯の泥かき、片付け、清掃等の協力活動を行いました。改めて被災後の「共助」の大切さ、対応体制の充実強化の必要性を感じたところです。

一方、令和新时代の幕開けにふさわしい嬉しい出来事としては、ラグビーW杯日本代表のベスト8入りがございました。最後まで諦めずに前に進む姿は日本中に

勇気と感動を与えてくれました。スローガンに掲げた「ONE TEAM(ワンチーム)」、「心を一つに」の思いは、社協が取り組む地域福祉の本質にも相通じるものがあると感じた次第であります。

今年は東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会が開催されます。そこにどんな感動のドラマが待っているのか、期待に胸が膨らみます。

さて、人生100年時代を迎え、誰もが明るく活気に満ち、健康でいきがいあふれる生活を地域の中で送れることが理想の姿

です。そこにどんな感動のドラマが待っているのか、期待に胸が膨らみます。

自身の健康保持や仲間づくりのみならず、豊富な人生経験や知識を様々な場面を通じて地域に還元され、日々元気に地域の担い手として活動が続けられる会員の皆様に對し、改めて敬意を表したいと存じます。

結びに、貴会の益々の発展と、新しい年が会員の皆様にとりまして素晴らしい1年となりますことを心よりお祈り申し上げます。

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

「第54回 小田原市老人クラブ連合会大会」が開催された

教養部長 山口 繁



令和元年11月19日(火)、小田原市民会館大ホールにて、第54回小田原市老人クラブ連合会大会が開催されました。

第1部の式典は、志村副会長の司会で進行し、北村副会長の開会の言葉、君が代斉唱に続き物故会員の追悼黙祷の儀が行われました。続いて大友会長より平素の市老連活動に対するご協力に感謝の言葉と自治会総連合および社会福祉協議会のご指導、ご援助に感謝の言葉がありました。またこれからの老人クラブ活動の充実・発展、および会員増強に努力されますようにお願いしますとの挨拶がありました。

次に永年にわたり老人クラブ活動に功績のあった方々の表彰式が行われました。



老人クラブの発展に寄与された
会長職6年以上の方 3名

新玉地区 林 昌三さん
万年地区 伊豆川 毅さん
酒匂地区 小林 久之さん

同様に発展に寄与された
会長以外の三役10年以上の方 3名

上府中地区 古宮キヨエさん
下中地区 柳田 正子さん
十字地区 湯山 一男さん

同様に発展に寄与され多岐にわたる
活動を継続されている方 1名

東富水地区 岩崎 芳子さん

以上の7名の方々が表彰され、被表彰者を代表して万年地区潮会老人クラブの伊豆川 毅会長から謝辞が述べられました。

次に、加藤小田原市長、奥山市議会議員、小澤県議会議員、木村自治会総連合会長からお祝いとお励ましの祝辞をいただきました。心からお礼申し上げます。

続いて来賓の方々の紹介と、祝電の披露が続いて市老連常任理事と監事の紹介を行いました。

次に片山副会長の音頭で、宣言

文を会場の1,100名の会員と朗読した後、山口副会長の閉会の言葉で式典を滞りなく終了しました。

午後より第2部の各地区自慢の芸能発表会があり、本年度は23の地区より歌や踊りの出し物が披露され会場の皆様の声援で楽しい時間を過ごしました。皆様のご協力に感謝申し上げます。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

生きがいふれあいフェスティバル 「第50回シルバー作品展」が開催された

総務部長 志村 善治

令和元年10月19日(土)・20日(日)、「シルバー作品展」が生きがいふれあいセンター「いそしぎ」において開催されました。会員による298点の作品が展示され、2日間で約850名の来場がありました。

今回は前回に比べ若干出展が少なめでしたが、どの作品も力作ぞろいで来場者が感銘される作品が非常に多かったように思います。

20日(日)は小田原市の委託事業である「三世代交流事業」として恒例の「焼きそば」「ポップコーン」「折り紙」「竹細工の竹とんぼづくり」が行われ、希望者に無料配布されました。「焼きそば」や「ポップコーン」のいい香りに誘われて行列ができました。

今年度も最高齢の出展者に対して、2名の方に大友会長より感謝状が贈呈されました。

【男性】 中村幸太郎さん 91歳 (芦子地区)

【女性】 譲原 ノブさん 97歳 (山王網一色地区)

シルバー作品展の開催に当たり会場の設営、作品の搬入、展示、搬出、焼きそば、ポップコーン、折り紙、竹細工、会場の撤収等々にお手伝いいただいた関係者の皆さま、ご協力ありがとうございました。



会員募集中!!

60歳を
すぎたら

シルバー人材センターへ

健康で、働く意欲のある高齢者の
就業をサポートする公益社団法人です。

民間企業・家庭・公共機関などから
仕事を引き受け、会員に提供します。
毎月第3火曜日に説明会を行っています。



連絡先 生きがいふれあいセンターいそしぎ内

☎0465(49)2333 【永井・山田・朝倉】

興味のある方は

小田原市シルバー人材センター

検索



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

単位クラブ活動報告

東富水地区

(連合会長 木村 賀茂)

総会員数
362

堀之内第一福寿会	会長 佐々木優実	男13・女31	計44
堀之内第二福寿会	会長 倉持 三郎	男9・女30	計39
堀之内第三福寿会	会長 和田 勝彦	男19・女28	計47
第一栄老会	会長 鈴木 茂	男23・女40	計63
中曽根寿会	会長 木村 賀茂	男32・女40	計72
飯田岡東寿会	会長 本間 豊	男17・女29	計46
蓮正寺ゆうゆうクラブ	会長 杉山 次郎	男23・女28	計51

東富水地区は7つの単位クラブで構成されており、互いに独立した活動をしています。

クラブ活動にはカラオケ教室・脳細胞活性化のためマージャン卓を囲み和やかに口を尖らせながらワイワイ、ガヤガヤ楽しく過ごしております。

公民館活動と一緒に書道教室、絵手紙教室等も開かれ、どの教室も和気あいあいと教養を高めシルバー作品展には毎年多数の出品をしております。

《地域活動》

各地域の中には大木の繁る鎮守があり、毎月神社の清掃、公民館・集会所の清掃を行っています。5月には酒匂川クリーン作戦にも参加しています。また福寿会及びゆうゆうクラブのメンバーで富水駅・螢田駅周辺の掃除に励んでおります。

中曽根寿会の活動紹介

酒匂川の右岸堤防に1人で「コソコソと「アジサイ」を植え、育てて初夏には散策する多くの人々の目を和ませておりました。

平成25年から有志の会員を募り、故



人の遺志を継ぎ毎年5月から8月下旬まで、アジサイの周りの草刈り、花摘み作業に汗をかき環境美化に努めております。

草刈り機での作業のため、散策の人々サイクリングの人達には十分気を使い、時には蜂に悩まされながら2時間半ほど汗をかき、スポーツドリンクを飲み、塩飴をなめながら昨年で7年続けております。

(文・木村 賀茂)

豊川地区

(連合会長 八森 剛)

総会員数
170

桑原清寿会	会長 奥津 能亨	男22・女30	計52
西成田清寿会	会長 片野 隆夫	男17・女13	計30
飯泉西組清寿会	会長 門松 茂	男19・女16	計35
飯泉南組清寿会	会長 八森 剛	男24・女29	計53

豊川地区は、小田原市の人口が減少する中で住民数、学童数が増加している数少ない地域です。しかし地区内の老人クラブは、クラブ数・会員数共に減少しており、また子供会の加入者数も減少しております。その中で各単位クラブは次のような活動に取り組んでおります。

《安心・安全への注力と活動》

・防犯 「特殊詐欺」の内容・事例と防止対策の資料の配布。地域内に郵送された「架空請求はがき」、怪しい「訪問営業の事例」、盗難事件などの情報を会員に知らせて注意喚起をはかっています。

・防災 「酒匂川の治水」内容の紹介や、洪水ハザードマップで発生が想定される「氾濫流域」や「河岸浸食」などについて話し合い注意喚起と避難対応のお知らせ。

《生活を豊かにする楽しい活動》

・各単位クラブが主催するカラオケ大会、サロン会、輪投げ大会、また市老連主催の「シルバー作品展」出品のための講習会実施

・地域の各団体が主催する「夏祭り」「秋の神社祭典」「健民祭」への協力と参加

・友愛チームによる対象会員への見守り訪問

・「延命子育石原地蔵尊祭り」(年2回実施)の運営・世話役及び念仏供養の実施(写真)

《地域を豊かにする社会活動》

・「クリーン酒匂(川)」河川敷の掃除、神社境内・忠魂碑等の清掃活動の実施

・「富士見の桜土手」(小田原市のホームページに掲載)の年2回の除草作業

・県西土木事務所協力し、国道255号沿いの「飯泉フラワーロード」の年2回の花植えと除草作業の実施

《市老連主催行事への参加》

・「老人大学」「ゆめクラブ大学」「各リーダー研修会」等に参加し知力維持、改善を行う

・「体力測定」「シルバースポーツ大会」「グラウンドゴルフ大会」等に参加して体力維持、改善を行う

・「日帰り旅行」「研修旅行」等に参加して他地域との交流、見聞、心の癒しを行う

会員は自分に合った活動、行事に参加し、加齢に伴う筋力の低下や認知機能の低下を予防し、人生100年時代を生きるために健康寿命の延長を図る活動を行っています。

また、未加入の方々が地域の皆さんと共に健康で楽しい生活が送れるように、会への加入を勧めております。

(文・八森 剛)



大窪地区

(連合会長 鈴木 幸一)

総会員数
213

白寿会	会長 三浦 鞠子
大窪59区寿会	会長 鈴木 幸一
大窪61区長寿会	会長 川野 隆仁
緑寿会	会長 風間 孝男

会員数

男4・女36	計40
男14・女29	計43
男30・女50	計80
男16・女34	計50

大窪地区は箱根路の入口にあり、板橋地蔵尊で知られている場所です。現在4クラブが活動しておりますが市老連行事以外はそれぞれの単位クラブで活動しております。各単位クラブの活動を紹介します。

白寿会

毎月第3日曜日に定例会を開催し、情報の伝達と、その月の誕生会を行います。また会員が作詞した「風祭旧道」の歌を合唱します。これが白寿会の歌になっております。また年に3回「親睦食事会」を開催し皆で楽しみます。その後で友愛の訪問を行います。

一昨年始めた介護予防教室「風祭いきいきクラブ」は健康寿命を延ばすことを目的に継続実施中です。

毎月第1と第3水曜日に「おだわら百彩体操」を行い、運動、物づくり、講義を受けております。

地域の高齢者が集まり笑いが絶えない楽しい会になりました。

(文・三浦 鞠子)

大窪59区寿会

会員の楽しみにしている忘年会・新年会を含む親睦会を開催し、会員間の意思の疎通を図る。

箱根板橋駅、公民館、公園の花壇の維持活動の実施。花の植え替え年2回実施。61区長寿会の担当する地蔵尊児童遊園地にも花を提供している。

毎月1回居神社社の清掃と自治会の美化運動に参加。また地区の祭典、夏祭りに参加。

《研修会と旅行》

令和元年は、春に大磯吉田茂邸、秋にはリンゴ狩りと富岡製糸工場跡の見学を実施しました。

(文・鈴木 幸一)

大窪61区長寿会

毎月1回、懇親会と役員会を実施。市老連、自治会その他活動の情報伝達と行事への積極参加の呼びかけを行っています。また役員会では会の運営について話し合っています。

ます。

毎月1回、居神社と地蔵尊児童遊園地の清掃作業を実施しています。また毎年春と秋に花壇の花の植え替え作業を実施しております。

《趣味の作品展の実施》

以前は親睦目的で「入湯会」を実施していたが参加者が少なくなり、これに代替行事として趣味の作品展を開催しました。結果は大変評判が良く毎年開催する事にしました。

《趣味の会の活動》

囲碁将棋部・民謡部・カラオケ部・グラウンドゴルフ部が活動しております。

《学童見守り活動》

小学校児童の登・下校時の見守り活動を継続して実施しております。下校時は複数個所で見守っています。

(文・川野 隆仁)

緑寿会

緑寿会は笑顔で「お早う」「今日は」と挨拶が気軽に交わせる町づくりに役立つと集まっています。会員相互の連絡・環境の整備・会員の福祉増進と向上を図る事を目的に、また老後の楽しい生活ができるように日々活動しております。

《定期活動》

毎月10日に板橋公園の清掃活動
毎月20日に居神社社の清掃活動

第2・第4木曜日グラウンドゴルフ練習

《年間活動》

新年会・お花見会・誕生会
小学生の登・下校時の見守り活動
寝たきり老人の見守り活動

※写真はP.12にて掲載しております。

(文・風間 孝男)

幸地区

(連合会長 朝見 健夫)

総会員数
213

茶組合	会長 藪田 達雄
宮寿会	会長 鈴木 八江子
丸の内親友会	会長 中西由季子
27区二の丸会	会長 山室 清
小峰会	会長 朝見 健夫

会員数

男10・女24	計34
男12・女30	計42
男6・女34	計40
男14・女28	計42
男16・女39	計55

地区内で活発に活動しているクラブ活動について紹介します。

《第27区グラウンドゴルフ同好会》

本同好会は平成28年老人クラブの「小峰会」と「二の丸会」が主体となり、地域住民も参加できるグループで「健康維持・交流・親睦」を目的に会を発足しました。

現在会員は18名で、平均年齢は77歳で毎週木曜日にプレーしています。メンバーは大変元気で毎回ほぼ全員参加で、明るく元気に頑張っております。

本会設立にあたって懸案であった活動場所について地域内にある国際医療福祉大学にお願いしたところ、その理念のひとつの「地域社会の健康・福祉に貢献する」ということが、同好会の目的に一致していることで、城内校舎のグラウンドを利用できることになりました。

近くに活動場所があることから、メンバーが集まりやすく、用具の運搬などの準備が短時間で済み、練習に集中できる恵まれた環境にあります。会員で話し合って決めた練習スケジュールに基づき絶えず工夫を加えながら全員参加型で活動しております。



(文・岡島 孝彦)

会員の日頃の熱心な練習により技術も向上し、プレーの楽しさや、得点を争う醍醐味も味わえるようになってきております。今後は、他の地域のチームと交流を行い、一段の技術の向上と仲間の輪を広げ一層楽しくプレーすることに努力してまいります。

「人生100年時代」と言われる今日、会員それぞれが気に入っていることで無理なくできるものを続けていくことが元気で健康な生活を送る上で大切であると思います。

市老連主要行事報告

(平成31年3月～令和1年9月分)

月	日	事業(会議)名	内 容	場 所		
3	3/31 ～ 4/2	春季研修旅行	第1班 緑・桜井・久野・芦子・早川・大窪・幸・下中	ぐるっと信州 ググッとぐんま！ 名所を巡る 2泊3日の旅 参加者:146名		
	4		第2班 新玉・豊川・酒匂・東富水			
	4～6		第3班 下府中・曾我・富水・万年・片浦			
	17	西湘ブロック 連絡協議会	・事業計画 ・県老連委託事業 ・情報交換	おだわら総合 医療福祉会館		
	18	常任理事会 監査 理事会	・平成30年度事業報告及び各会計収入 支出決算報告について ・総会について 他	おだわら総合 医療福祉会館		
26	女性部会研修	令和元年度栄養教室レシピ検討会	けやき			
5	9	常任理事会 理事会	・平成元年度事業計画及び各会計収入 支出予算案について ・友愛チームリーダー研修会について ・老人大学の開催について 他	おだわら総合 医療福祉会館		
	10	慰霊塔清掃	下中・新玉・前羽	市慰霊塔		
	15	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Bブロック 早川・十字地区対象)	早川公民館		
	20	総会	・平成30年度事業報告及び各会計収入 支出決算報告について ・監査報告 ・令和元年度事業計画及び各会計収入 支出予算案について	おだわら総合 医療福祉会館		
6	4	西湘ブロック交流 グラウンドゴルフ 大会	準備	酒匂川 スポーツ広場		
	5		大会開催			
	7	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Bブロック 片浦・大窪地区対象)	早川公民館		
	10	常任理事会 理事会	・令和元年度県老連理事長表彰について ・「市町村実態調査」に伴う会員の年齢講 成調査について ・友愛チームリーダー研修会について ・西湘ブロック交流グラウンドゴルフ大会 の結果について 他	おだわら総合 医療福祉会館		
			慰霊塔清掃		十字・二川・下曾我	市慰霊塔
	12	大垣市老人クラブ から視察	小田原市の友愛活動について、大垣市老 人クラブ連合会のメンバーと情報交換	おだわら総合 医療福祉会館		
20	友愛チームリーダー 研修会	基調講演 「友愛チームの活動について」 講師 久野地区地域福祉コーディネーター (ささえあい久野・ひまわりの会) 会長 久保寺征一氏	おだわら総合 医療福祉会館			
7	9	常任理事会 理事会	・西湘ブロック「ゆめクラブ大学」について ・健康づくり事業「体力測定」の開催につ いて ・秋季研修旅行について ・生きがいふれあいフェスティバル「シル バー作品展」について ・米寿(88歳)会員の調査及び贈呈金の 確認について ・「社会奉仕の日」について 他	おだわら総合 医療福祉会館		
			10		慰霊塔清掃	酒匂・久野
	10	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Eブロック 曾我・下曾我・上府中)	梅の里センター		
			24	老人大学 第1回	・開講式 ・講話 「老年症候群と上手く付き合う」 講師 小林病院リハビリテーション科 辻内 和人氏	おだわら総合 医療福祉会館
	30	女性部のつどい	「認知症サポーター養成講座」について 講師 地域包括支援センターはくさん 青木 薫子氏	おだわら総合 医療福祉会館		
	8	1	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Cブロック 足柄・芦子・二川・久野)	けやき	
8		常任理事会 理事会	・秋季旅行について ・第54回小田原市老人クラブ連合会大 会について ・令和元年度「老人クラブ加入促進月間 10月～3月」事業の実施について ・第54回シルバースポーツ大会について	おだわら総合 医療福祉会館		
10		慰霊塔清掃	富士見・東富水・曾我	市慰霊塔		
21		体力測定 (健康づくり教室) [女性部会員対象] 参加者 35名	・体力測定 ・講話 「～毎日元気に! からだの動かし方の秘訣～」 講師 県西地区リハビリテーション 連絡協議会 理学療法士	おだわら総合 医療福祉会館		
22		体力測定 (健康づくり教室) [男性部会員対象] 参加者 44名				
26		県西ブロック ゆめクラブ大学	・講話「騙されないと信じているあなた が危ない」 ～地域で安心して暮らすために～ 講師 消費者問題に取組む「Cの会」 会長 矢野 裕美氏 ・講話「いつまでも美味しく食べるために」 講師 小田原保健福祉事務所 保健福祉部保健福祉課 管理栄養士 小泉 洋子氏 川瀬 理絵氏 ・「高齢者のための栄養バランス等を考 慮して調理された食事の試食及び栄養 講話」 ・健康体操「三太郎体操」 講師 (公財)かながわ健康財団 高垣 茂子氏	おだわら総合 医療福祉会館		
9		3	女性部研修会 (市高齢介護課共催)	「食で生き生き! 栄養教室」 (Cブロック 足柄・芦子・二川・久野)	けやき	
		4	常任理事会 理事会	・令和元年度街頭募金の日程について ・第46回シルバースポーツ大会役割分担 ・第54回市老連大会役割分担 ・秋季研修旅行について ・令和元年度生きがいふれあいフェス ティバル役割分担について ・令和元年度米寿会員数の報告と祝い 金配布について	おだわら総合 医療福祉会館	
		10	慰霊塔清掃	豊川・上府中・山王網一色	市慰霊塔	
		12	老人大学 第2回	講話「高齢期における口腔ケアと口腔 機能について」 ～オーラルフレイルに気を付けよう～ 講師 西本歯科医院 西本 幸仁氏	おだわら総合 医療福祉会館	
	17	常任理事会 理事会	・市老連大会での表彰者の審査 ・忘年懇親会の開催について ・市老連大会の開催について ・生きがいふれあいフェスティバルにつ いて ・第46回シルバースポーツ大会について ・小田原創友クラブグラウンドゴルフ大 会について ・神奈川県老人クラブ連合会理事長の 表彰審査結果について ・令和元年度共同募金運動への協力に ついて	おだわら総合 医療福祉会館		
	25～ 27	秋季研修旅行	第1班 下府中・曾我・富士見	復興支援 南東北の旅		
	29～ 10/1		第2班 上府中・久野・東富水・富水・ 幸・十字・万年・足柄・芦子・二川	スパリゾート ハワイアンズ と 秋保温泉		

旅行記



9月29日(日)、小雨ぱらつく中、同乗する10地区の参加者を1時間半近くかけて拾いながら小田原を出発しました。

中井PAで団結式を行い、谷田部東PAで休息し、第1の見学場所、梅酒と酒の資料館「別春館」で見学と試飲を行い、ひたちの里水戸インター店で昼食をとり、名物の納豆を買ったあと昭和の大作曲家、吉田正音楽記念館へ向かいました。

吉田正の生涯は、ロシアに抑留され帰国したら日本では「異国の丘」が流行っていました。この歌は吉田正が抑留中に作った歌であることが彼の持っていた手帳から判明し

令和元年度秋季研修旅行記 『復興応援 南東北2泊3日の旅』

吉田正音楽記念館・石巻語り部・松嶋五大堂・仙台青葉城址

幸地区 小峰会 朝見 健夫

ました。その後教え子にも恵まれ、作る歌が大ヒットして偉大な作曲家になったようです。

記念館を後にして3時過ぎにはホテル「スパリゾートハワイアンズ」に到着しました。ホテルでは男性はアロハ、女性はムウムウに着替えて宴会場へ。女性のムウムウ姿は皆さん若返ったように感じられました。宴会後フラガールのショー「火の踊り」を見学しました。よくあれだけ腰が振れるものだと感心しました。

2日目・好天に恵まれ昼食後に語り部さんがバスに乗り込み東日本大震災の被災場所「石巻」を案内してくれました。石巻は壊滅状態で想像以上の被害でした。

語り部さんに尋ねました。「なぜ二二二として案内されるの」と。これに対して「暗い顔して案内できませんか。私自身がそれではもたないし、来てくれる方々に失礼になる。だからこの顔で案内させてもらっている」言葉聞いて万感胸に迫る思いがし、目頭が熱くなりました。

献花後、バスは松島五代堂に向かい参拝し、松島蒲鉾本舗で買い物をして宿泊の秋保温泉「岩沼

屋」に到着しました。岩沼屋は創業400年以上の静かなゆったりとした宿でした。

3日目・今日も好天に恵まれ旅行日和です。宿を出発し、仙台総鎮守「国宝大崎八幡宮」に参拝した後、青葉城を見学しました。

伊達の牛タン本舗で昼食を取り、牛タンを買って、バスは小田原に向かつて走りに走り無事到着しました。



私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



令和の新时代に入り、秋の研修旅行は『復興応援 南東北2泊3日の旅』でした。3・11から8年の歳月が経過した石巻の被災地を目の当たりにし、語り部の話に頭が熱くなりました。献花台に花束を供え冥福をお祈りしました。

温泉好きの私が楽しみにしていた「岩沼屋」は、平安時代の開湯と言われ創業400年の歴史が物語り、赤ちゃんも入れる優しい泉質で訪れる人々を癒してくれます。「湯の舞の湯」の大浴場は39℃、40℃、42℃に分かれており、好みに合わせて入浴できます。大きく開かれた窓が開放的で、夜のライトアップが幻想的な露天風呂、朝の日差しを感じながら入るお風呂は格別でした。

総木造りの湯殿と広々とした湯がね、窓から見る日本庭園を臨み、四季折々の食材を使用し、素材そのものの味を生かした懐石料理に満足しました。

帰り際に「石沼屋」の看板を背に女将さんと写真を撮り、帰路に向かいました。

令和の新时代に入り、秋の研修旅行は『復興応援 南東北2泊3日の旅』でした。3・11から8年の歳月が経過した石巻の被災地を目の当たりにし、語り部の話に頭が熱くなりました。献花台に花束を供え冥福をお祈りしました。

秋保温泉『岩沼屋』宿泊記
桜井地区 櫻寿会第一クラブ
片山 勝

令和元年度
秋季研修旅行に参加して
「仙台の奥座敷」

令和2年度 春季研修旅行

～小浜、若狭姫神社・レインボーラインから望む三方五湖の絶景～
保津峡を走る嵯峨野トロッコ列車と皇室ゆかりの京都御所

春景色の若狭路と京都2泊3日の旅

(お1人様)
42,000円

●宿泊代(2泊)・食事代(夕2・朝2・昼3・軽夕食1)
●旅行傷害保険、消費税を含みます。

日程	行程
第1日	小田原市内「各地出発」=大井松田IC=<東名>=足柄SA「休憩・集結」=<新東名>=<名神・北陸道>=敦賀IC 6:30-7:20頃発 7:45-8:05
	=敦賀、塩荘すずかけ亭「昼食」=敦賀昆布館「お買物」=レインボーライン(三方五湖・若狭湾の展望/全長約11km)=小浜温泉「宿泊」 12:45-13:35 13:40-14:10 15:10-15:40 16:20頃着
	■ご宿泊ホテル 若狭の宿せくみ屋 ☎0770-52-0020
第2日	小浜温泉=箸匠せいわ「研磨体験・お買物」=(※体験と参拝はバス入替でご案内)=若狭姫神社「若狭国一之宮/参拝」=<鯖街道> 8:30出発 8:45-9:30 9:35-10:05
	=坂本、びわこ楽園ホテル井筒「昼食」=京都御所「拝観/桜観賞」=八つ橋庵とししゅうやかた「八つ橋のお買物」= 12:25-13:15 14:05-15:05 15:40-16:10
	沓掛IC=<京都縦貫道>=亀岡IC=湯の花温泉「宿泊」 16:50頃着
第3日	■ご宿泊ホテル おもてなしの宿 湊山閣 ☎0771-22-0250
	湯の花温泉=近為「京の蔵出し漬物/お買物」=トロッコ亀岡駅++(嵯峨野トロッコ列車)++トロッコ嵯峨駅…(徒歩) 9:00出発 9:05-9:35 10:05-10:30発 10:56着
	…嵯峨駅前、ホテルピナリオ「昼食」=京都南IC=<名神・新名神・東名阪・伊勢湾岸道・新東名>=駿河湾沼津SA「休憩・解散式」= 11:00-12:00 【軽夕食付】 17:45-18:00
	=大井松田IC=小田原市内「各地解散」 18:40-19:30

※この旅程は運輸機関のダイヤ改正及び各地の道路状況等により
多少時間変更になる場合がございます。

班	日程	地区	班	日程	地区
1班	3/25日(水)~3/27(金)	桜井・山王網一色・下府中・東富水・曾我・大窪 富士見・十字・芦子	2班	3/31(火)~4/2(木)	万年・緑・豊川・二川・早川・幸・下中・足柄・前羽 上府中・酒匂・久野・国府津・片浦・新玉・富水・下曾我

■申込方法／最寄りのクラブ会長様に旅行代金を添えてお申し込み下さい
■お問い合わせ／小田原市老人クラブ連合会事務局 ☎ 0465-(32)-5800
もしくは最寄りのクラブ会長様へ

旅行取扱会社
(株)小田急トラベル 小田原営業センター
☎ 0465(58)0801

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

会 員 文 芸

俳 句

十字地区 生田目茂子
春 春暁や枕に未練残しおり
冬 乳母車乗車の犬に冬日かな

富水地区 西北長寿会 熊坂 千枝
米寿越え共に無事なりお元日
初富士や足柄平野晴れ渡る

短 歌

酒匂地区 寿楽会 渡辺 一弘
慈しみ滾る情愛を長男の
吾れにすぎ込みし父は短命

台風は海から城へと攻め続け
休むことなく箱根峠へ
虎落笛県境いなる港町

人影見えず寒昂牙ゆ
ふる里は白鳥五百羽瓢湖に憩い
雁木通りも歳末売出し

しだれ梅この地は梅の名所にて
曾我の梅林別所梅林
肌寒し小田原城は菊まつり

天守から見ればひとつの華なり
晩年はどこを厳しくいましめよ
父の言葉を遺言とす

園児らは先生と一緒に筆供養
紅梅咲き始む荏柄天神
入梅前障子張り終え安堵する

あらたな気持ちで夏をむかえる
川柳
十字地区 生田目茂子

(犬と猫)
夫を呼び猫の返事がかえりけり
犬だけはお前様にしつぷり

前羽地区 町屋長楽会 大井川悦雄
飽きるほど君が代聞きたい一年後
ポスターの笑顔の奥に潜み知恵
まだ出来る無理が涙の筋肉痛

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
鳴き交わす蟋蟀の声亡妻恋し
茜然ゆ二子の山に亡妻想う
野分去り雲間に亡妻の笑い顔

富水地区 飯田岡寿第一会 岡田チヨ子
踏むまいと仰臥の蟬をよけやれば
余計なせわとひよいと飛び去り

狭庭もそれなりに来し秋の空
コスモス咲きて紫蘇の実はじく
呆け防止歌でも詠めと娘は吾に
ハガキ十枚今日も持ちくる

桜井地区 城北健寿会 杉山 久子
《四国旅行 3首》
島なみ街道すすめば島々がやきて

瀬戸の花嫁歌詞のたたくる
覚悟してこわごわ渡るかずら橋
ま下を見れば青き急流
桂浜大海原を前にして
龍馬となりて深呼吸する

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
思い出の月の国府津のあの決闘
まだ掌に残る亡妻の温もり

テレビからマリモの歌が流れくる
阿寒の湖の亡妻なつかしや
迎え火にアンスリユームの花が映え
亡妻ニコニコと自分の部屋へ

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男
送り火をばば泪目で牛に乗る
レビユー病み幻のばばハグしたい

ゲートルは捲いたが銃は持たず老い

ばあばのノート

(昔の歌の替え歌)

酒匂地区 大道敬和会 小寺 光男

一、生命に限りあることを

よくよく知ったばばの死よ

インクの色も滲んでる

めくればポロポロ

涙こぼれるばあばのノート

二、きれいな色のちぎり絵も

昔のばばを想うだけ

娘ざかりに抱いていた

あの夢この夢

消えてはかないばあばのノート

三、想い出ばかりうずまいて

ばあば会いたやなつかしや

ばあば大事な曾我梅林

もつと大事なばあばのノート

原稿募集

「小田原創友クラブ」75号(令和2年夏号)に原稿をお寄せください。

単位クラブの紹介は十字、足柄、前羽、上府中地区です。単位クラブの様子、特別な行事等を紹介下さい。(写真を添付して下さい。原稿と共に返却)

日々の雑感、旅行記、俳句、短歌、川柳などお寄せ下さい。

(紙面の都合で長文の場合は一部をカットさせていただきますが、次号に回すことがあります)

二重投稿、発表済みのものは返却いたします。

必ず地区名、氏名、電話番号を明記ください。

発行 令和2年8月

締切日 令和2年6月1日

宛先 〒250-0055

小田原市久野115-2 おだわら総合医療福祉会館内
小田原市老人クラブ連合会「小田原創友クラブ」教養部

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています



単位クラブ活動報告 大窪地区



会員加入増強運動 実施中です

小田原創友クラブの推進項目として

- ◎未加入者宅にパンフレットの投函
- ◎会員1人が新しい会員1名以上の勧誘をする。
- ◎未加入自治会の創友クラブの結成をはかる。
- ◎単位クラブ2名以上の増員が最低目標

あとがき

「小田原創友クラブ74号」に皆様方より多数の投稿を頂きありがとうございました。

74号に収録する予定だった「第46回シルバースポーツ大会」と令和元年度の「小田原市創友クラブグラウンドゴルフ大会」が台風19号の大雨でグラウンドが使用不能となり、中止になったため掲載できませんでした。

単位クラブの活動報告は特色のある活動の紹介が多くなり動きが感じられます。今後ともクラブの特色を紹介頂ければ幸いです。

次回発行の75号は編集のマンネリズムを検討し新企画を取り入れたいと考えております。

(教養部)

ご協賛いただいた皆様への御礼

このたびは、広報紙に広告のご協賛をいただき、誠にありがとうございます。本紙は紙面を通じて会員の交流・情報交換はもとより、地域の皆様に老人クラブの活動をご理解いただき、一層の交流の輪を広げるため発行するものでございます。以上の趣旨をご理解いただき、引き続き広告掲載のご協力を賜りますようお願い申し上げます。

【小田原市老人クラブ連合会】

私たちは小田原市老人クラブ連合会の活動を応援しています

--	--	--	--

--